

多文化共生の新しい視点、 「ダイバーシティ」は地方創生への第一歩!

～多様性を生かしたまちづくりが、地域に新たな力を生む～

■ 基調講演

「ダイバーシティとは(概論)」

一般財団法人 ダイバーシティ研究所

代表理事 **田村 太郎 氏**

阪神大震災で被災した外国人への情報提供を機に「多文化共生センター」を設立。地域における多文化共生社会の推進に携わる。自治体国際化協会参事(2005年度)などを経て、2007年から現職として企業や自治体によるダイバーシティの取り組みをテーマに調査研究やコンサルティングを行う。復興庁復興推進参与、明治大学大学院兼任講師、関西学院大学非常勤講師も務める。



「ダイバーシティがもたらすメリット」

富山県 氷見市

総務部 参事(ヒューマン・リソース・マネージャー) **内片 素子 氏**

2016年5月より現職。大学卒業後、百貨店勤務を経てプロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イースト・インク(現P&Gジャパン)にマーケティング職として転職。長野県在住時は、理事長として子育て支援NPOを運営。その後MBAを取得し、ブルガリ・ジャパン株式会社の人事部マネージャーとしてキャリアチェンジ。阪神淡路大震災・東日本大震災をきっかけとし、社会課題解決にコミットするためNPOサポートセンターでNPOの運営支援を実行。



■ **日時:平成28年11月25日(金) 13:00~17:10**

■ **会場:サンシップとやま 701号室**

〒930-0094 富山県富山市安住町5-21

アクセス:http://www.wel.pref.toyama.jp/about/4_map.html

■ **対象:40名(先着順。定員になり次第終了)**
自治体職員・地域国際化協会職員、NGO/NPO関係者、
その他関心のある方(企業、学生、および一般市民)

■ **参加費:無料**

■ **申込方法:①~⑤を記載の上、下記メールアドレスあてにお申し込みください。**
〔①件名【11/25 富山セミナー申込】 ②お名前(ふりがな) ③ご所属 ④ご連絡先(TEL、E-mail) ⑤懇親会参加の有無〕

■ **お問い合わせ:市民国際プラザ 担当:渡邊**
E-mail: international_cooperation@plaza-clair.jp Tel:03-5213-1734



開催趣旨

日本における在住外国人の数が増える昨今、多文化共生社会における外国人支援の幅も多岐にわたり複雑化する傾向が見受けられます。一方で、ライフスタイルや社会のニーズも多様化し、「多様な背景を持つメンバーで構成される組織はしなやかで強い」という考え方に立ち、地域や組織の構成員が多様になるよう、積極的な戦略を持つことに注目が集まっています。

ダイバーシティとは「多様性」という意味の英語で、人種、性別、年齢、信仰などにこだわらず多様な人材を生かし、最大限の能力を発揮させよう、という考え方をしています。

一人ひとりの違いや異なる個性が尊重され、多様な人たちが対等に関わり合いながらより良い社会を目指すということは、国連が掲げる「持続可能な開発目標SDGs」の基盤である「誰も取り残さない（Leave No One Behind）」という考えに通じます。

従来の多文化共生施策では、多文化共生を外国人支援という単一的な視点だけでとらえていましたが、これからは「多様性を活かしたまちづくり」という包摂的な新しい視点へのシフトが求められます。

外国人に限らず、地域にいる多様な一人ひとりが共に社会づくりに参画することで、誰もが住みやすい町として地域活性化が促進され、ひいては地域のブランド化にもつながることが期待されます。

本セミナーでは「ダイバーシティ」の土壌作りとして、多様な人々との共生に取り組む事により新たに発揮される力や可能性について学びます。そして地域コミュニティの活性化を促し「地域創生」には何が必要か、を参加者と共に考えます。

プログラム

第1部 13:00-15:00		
13:00-13:05	開会挨拶	(一財)自治体国際化協会 多文化共生部長 澤田 淳一
13:05-13:10	資料説明、施設確認など	
13:10-13:50	基調講演1 「ダイバーシティとは(概論)」	一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏
13:50-14:05	休憩	
14:05-14:45	基調講演2 「ダイバーシティがもたらすメリット」	富山県氷見市 総務部 参事(ヒューマン・リソース・マネージャー) 内片 素子 氏
14:45-15:00	休憩	
第2部 15:00-17:10		
15:00-16:05	パネルディスカッション 「多様性(ダイバーシティ)を生かしたまちづくりと 地方創生」 【ファシリテーター】 ダイバーシティとやま 副代表理事 柴垣 禎 氏 ※パネリスト(①~③)の活動報告を含む	【パネリスト】 ① 三重県四日市市 笹川地区協議会 教育文化部長 関島 博 氏 ② NPO法人 東九条まちづくりサポートセンター(まめもやし) 事務局長 京都外国人高齢者障害者生活支援ネットワーク・モア 村木 美都子 氏 ③ 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいだ 事務局長代理 太神 みどり 氏 ④ 一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏 ⑤ 富山県氷見市 総務部 参事(ヒューマン・リソース・マネージャー) 内片 素子 氏
16:05-16:20	休憩	
16:20-17:05	意見交換会(グループディスカッション) 「多様性を活かしたまちづくりを考える」	
17:05-17:10	閉会・案内	
17:30-19:00	懇親会	※任意参加(参加費¥3,500程度、実費精算)

パネリスト

三重県四日市市 笹川地区協議会 教育文化部長 関島 博 氏

人口の約14%が外国人という集住地区において、支援対象者としてではなく、地域生活者として「共に生きる」を目指して、地域活動を通じて多文化共生に関わる。外国人住民への啓発だけでなく、地域側の受入れ態勢の改革などを進め、現在では地域の学校を対象に、地域活動の担い手の育成に力を注ぐ。

【笹川地区協議会とは?】三重県四日市市笹川地区において、社会福祉協議会、青少年育成協議会、スポーツ推進協議会、街づくり協議会の4つの協議会を統合した地域団体で、社会福祉部、青少年育成部、体育部、教育文化部の4つの部会で活動しており、それぞれの部会活動を全役員が関わり、横の繋がりを重要視して活動をしている。

NPO法人東九条まちづくりサポートセンター(まめもやし)事務局長

京都外国人高齢者障害者生活支援ネットワーク・モア事務局 村木 美都子(みとこ) 氏

1989年から在日コリアン多住地域、京都市の東九条地域に関わる。現在6割がコリアン、5割が独居の市営住宅で開放的コミュニティづくりを行う。また、外国にルーツを持つ人々に対して、簡単な日本語や母国語による生活支援や、市民に対して、寸劇で在日コリアンの歴史的背景や生活の「ちがひ」を紹介する活動を行う。

特定非営利活動法人大学コンソーシアムおおいだ 事務局長代理 太神(おおが) みどり 氏

1992年3月 同志社女子大学短期大学部卒業、都市銀行勤務やJETRO勤務を経て、2004年10月の特定非営利法人大学コンソーシアムおおいだ設立時から事務局入り。
大分県の留学生に対する生活支援・地域交流支援・就職支援等々、事務局として各種事業現場での運営・管理に従事。
2009年1月から事務局長代理。



ファシリテーター

ダイバーシティとやま 副代表理事 柴垣 禎(ただし) 氏

富山県職員。2007年の新潟中越沖地震時に外国人支援の活動に従事した経験から、全国各地で多文化共生の地域づくりに関する人材育成に努める。

その後、自殺対策やメンタルヘルスの課題に取り組み、地域におけるマイノリティへの包括的な対策として、NGOダイバーシティとやまの設立に携わり、以降、幅広い分野で研修活動等に従事。

